

〔事業者の理念・方針、期待する職員像：小規模保育事業〕

1	理念・方針（関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）
	事業者が大切にしている考え（事業者の理念・ビジョン・使命など）のうち、特に重要なもの（上位5つ程度）を簡潔に記述 （関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）
	1）子どもの人権や主体性を尊重し、夢や希望を信じて逞しく生き抜く人づくりをする。 2）子どもの育ちと教育の個性的な保育を目指す。 3）感性をはぐくむ保育園を目指す。 4）地域と共に育ちあう保育園を目指す。 5）健康・安全で情緒の安定した環境設定を目指します。
2	期待する職員像（関連 カテゴリー5 職員と組織の能力向上）
	（1）職員に求めている人材像や役割
	保護者が安心して子どもを預けられるよう、いつでも耳を傾け、保護者に寄り添った保育者であることが大切と考える。 ・ 保育の専門家として向上心を持ち、実践力と協調性をもつ保育者 ・ 一人ひとりの子どもを大切にし、子どもの最善の利益と考えて保育をしている保育者 ・ 保護者と共に子どもの成長を喜び合える保育者 ・ 心身ともに健康で、笑顔の絶えない保育士
	（2）職員に期待すること（職員に持って欲しい使命感）
	・ 子ども一人ひとりの最善の利益を尊重し、各年齢の発達を理解して状況に応じた保育ができるような職員 ・ 子どもが主体的に活動できるよう、快適な環境設定のできる職員 ・ 子どもの個性を認め、個別の対応と保護者支援がしっかりできる職員 ・ 法令順守に努める職員

〔利用者調査：小規模保育事業〕

調査対象	9月1日現在、保育園を利用している全世帯を対象に調査を実施しました。兄弟姉妹のいる世帯は、1世帯として扱い、一番年齢の低いお子さんを対象として回答してもらいました。		
調査方法	無記名方式。配付は事業所を通じて保護者へ手渡しし、回収は密封して評価機関に直接送付してもらい、取りまとめました。調査結果は選択回答だけでなく、記述式の回答についても匿名性に配慮してまとめ、保育園に報告しました。		
	利用者総数	13	
	利用者家族総数（世帯）	13	
	共通評価項目による調査対象者数	13	
	共通評価項目による調査の有効回答者数	12	
	利用者総数に対する回答者割合（％）	92.3	

利用者調査全体のコメント

総合的な感想では、「大変満足」5名、「満足」3名、「どちらともいえない」3名、「無回答」1名であり、67%の利用者が満足と回答しています。

毎日の保育サービスにおける「子どもの心身の発達」、「子どもの興味や関心」、「自然や社会と関わる機会の確保」、「安全対策」、「職員との信頼関係」、安心・快適性における「清潔で整理された空間」、「病気やけがをした際の職員の対応」、利用者個人の尊重における「子どもの気持ちを尊重した対応」、および不満・要望への対応における「不満や要望への職員の対応」でそれぞれ85%以上と高い満足度がうかがえます。

自由意見では、「少人数なので子どもの寄り添ってくれています」、「お迎えの時に一日の様子を詳しく話してくれるので、安心できます」、「大変満足しており、意見・要望はないです」、「担任の先生はじめ、保育園全体で子どもを大切に、かつ安全に指導していただいているので安心して預けられます」、「園外に出て、遠くまで歩いて体力をつけてくれる先生に感謝します」など、園に対する感謝の声が多く寄せられています。

一方、「一部の職員は言葉遣いがない時がある」などの声がありました。

利用者調査結果

共通評価項目	実数			
コメント	はい	どちらともいえない	いいえ	無回答 非該当
1. 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか	12	0	0	0
100%の方が「はい」と回答しています。自由意見には、「周りの園児との交流が、発達に役立っていると思います」、「少しずつですが、言葉を話すようになったり、自分だけではなく、子どもなりにお友達のことを気にかけるようになったりしています」などの声がありました。				

共通評価項目	実数			
コメント	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
2. 保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか	12	0	0	0
100%の方が「はい」と回答しています。自由意見には、「分かりやすい連絡帳からも、良いことも悪いことも伝わり、子どもにとってありがたいです」などの声がありました。				
3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	10	1	1	0
83%の方が「はい」と回答しています。自由意見には、「好き嫌いを無くしてくれていると思います」、「入口の写真の意味が分かりづらい」などの声がありました。				
4. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	11	1	0	0
92%の方が「はい」と回答しています。自由意見には、「散歩で色々な公園に行くので、良いと思います」などの声がありました。				
5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	7	2	0	3
58%の方が「はい」と回答しています。自由意見には、「(一部の職員が)一瞬表情を変える時があって、柔軟とは言えません」などの声がありました。				
6. 安全対策が十分取られていると思うか	11	1	0	0
92%の方が「はい」と回答しています。自由意見には、「上に物を多く置いてあって危ないと思った」などの声がありました。				
7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	9	2	0	1
75%の方が「はい」と回答しています。自由意見には、「コロナのため行事がないので、正直わかりません」などの声がありました。				
8. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	11	1	0	0
92%の方が「はい」と回答しています。自由意見には、「担任の保育士さんがとてもよく相談にのってくれます。心強いです」、「帰るときに、必ずお話しをします。そこで、お話しをすることによって、助かっています」などの声がありました。				
9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	11	1	0	0
92%の方が「はい」と回答しています。自由意見には、「いつも、きれいです」などの声がありました。				

共通評価項目	実数			
コメント	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
10．職員の接遇・態度は適切か	10	1	1	0
83%の方が「はい」と回答しています。自由意見には、「髪の毛を染めすぎている職員がいる」などの声がありました。				
11．病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	11	1	0	0
92%の方が「はい」と回答しています。自由意見には、「膝をケガした時、しっかりと説明してくれたので安心しました」、「とても素早く、対応いただいています」などの声がありました。				
12．子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	8	2	0	2
67%の方が「はい」と回答しています。自由意見には、「まだそのような場面がないので、分かりません」などの声がありました。				
13．子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	12	0	0	0
100%の方が「はい」と回答しています。自由意見には、「一人ひとり、きちんと対応してくれていると思います」などの声がありました。				
14．子どもと保護者のプライバシーは守られているか	10	2	0	0
83%の方が「はい」と回答しています。自由意見には、「連絡帳に全て書いてあるので、安心です」、「担任の先生と話しているときは、別の先生に聞かれたくない時もある」などの声がありました。				
15．保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	10	2	0	0
83%の方が「はい」と回答しています。自由意見には、「わかりやすい先生もいるが、分かりにくい先生もいる。逆にクラス担任以外の先生に聞いてみたい。」などの声がありました。				
16．利用者の不満や要望は対応されているか	11	0	0	1
92%の方が「はい」と回答しています。自由意見には、「その場でわかりやすく、しっかり答えて対応してくれました。別の先生は、ゆっくり受け止めて聞いてくれました」などの声がありました。				
17．外部の苦情窓口（行政や第三者委員等）にも相談できることを伝えられているか	7	2	1	2
58%の方が「はい」と回答しています。自由意見には、「伝えてくれたことはない」などの声がありました。				

〔組織マネジメント：小規模保育事業〕

Ⅰ 組織マネジメント項目（カテゴリ 1～5、7）

No	共通評価項目		
1	カテゴリ 1		
	リーダーシップと意思決定		
	サブカテゴリ 1（1 - 1）		
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況 7 / 7
	評価項目 1 事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）を周知している 評点（〇〇）		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている	○非該当
	●あり ○なし	2. 事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている	○非該当
	評価項目 2 経営層（運営管理者含む）は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事務所をリードしている 評点（〇〇）		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 経営層は、事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）の実現に向けて、自らの役割と責任を職員に伝えている	○非該当
	●あり ○なし	2. 経営層は、事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）の実現に向けて、自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している	○非該当
	評価項目 3 重要な案件について、経営層（運営管理者含む）は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している 評点（〇〇〇）		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている	○非該当
	●あり ○なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している	○非該当
	●あり ○なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている	○非該当
	カテゴリ 1 の講評		
	人権を大切にすることを育みながら、園を笑顔で満たすことにつなげています 園の目指す姿は、子どもたちは人とかかわりの中で、人への愛情や信頼感が育つよう最大限考慮された保育を受けつつ、人権を大切にすることを育みながら園を笑顔でいっぱいにして行く、このような姿を基本理念の中にて明確にしています。これを受けて、見学者向けの「園パンフレット」や保護者向け説明資料である「入園のしおり」、「重要事項説明書」には、この基本的な考え方が一貫して説明されています。また、園長は職員に対しても、職員会議やリーダー会などで、これらの資料を引用して繰り返し伝え、園内いっぱいの笑顔につなげています。		

	<u>園長及びリーダーを中心に、職員全体で園の目指している姿を追求しています</u> 園長は、園の目指している姿に対して職員の取るべき行動はどうあるべきかを、年度初めの職員会議、定期的な職員会議、日々のミーティングの場、これ以外の場においても、職員本人の意識の違いや力量・レベルに合わせて理解を深められるように、個々との直接の対話を多く持つようにしています。また、リーダー層には園の目指している姿を深く理解された方が育っており、職員全体で基本的な考え方（理念）に沿って、保育の質を高める取り組みや園内部での全体的なレベルアップを支援しています。		
	<u>重要案件を職員会議で話し合い、専門家からのアドバイスも取り入れています</u> 毎月の職員会議に際しては、園長は取り上げたい事柄をあらかじめ項目別（グループの園長会報告、各クラス運営状況、食育・給食関係報告、次月イベント・行事の協力依頼、避難訓練の反省と計画、その他の報連相・要望・議案）に整理しておくことで、効率的な会議運営を行っており、会議での気づきを含めて議事録で共有しています。また、園内で解決が図れない案件含め、区の連携保育園、保健センターなどの専門家のアドバイスを受ける体制が整っており、子育て相談、健康管理（安全と医療）など、保護者への情報提供も積極的に行なっています。		
2	カテゴリー 2		
	事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行		
	サブカテゴリー 1（2 - 1）		
	事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している	サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	6 / 6
	評価項目 1 事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している 評点（○○○○○○）		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している	○非該当
	●あり ○なし	2. 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している	○非該当
	●あり ○なし	3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している	○非該当
	●あり ○なし	4. 福祉事業全体の動向（行政や業界などの動き）について情報を収集し、課題やニーズを把握している	○非該当
	●あり ○なし	5. 事業所の経営状況を把握・検討している	○非該当
	●あり ○なし	6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している	○非該当
	サブカテゴリー 2（2 - 2）		
	実践的な計画策定に取り組んでいる	サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	5 / 5
	評価項目 1 事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している 評点（○○○）		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 課題をふまえ、事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）の実現に向けた中・長期計画を策定している	○非該当
	●あり ○なし	2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している	○非該当
	●あり ○なし	3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている	○非該当
	評価項目 2 着実な計画の実行に取り組んでいる 評点（○○）		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）の実現に向けた、計画の推進	○非該当

		方法（体制、職員の役割や活動内容など）、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している	
●あり ○なし	2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し（半期・月単位など）、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる		○非該当
カテゴリー 2 の講評 <u>利用者の意向・ニーズへの対応では、個別相談には特に力を入れています</u> 利用者の意向、ニーズの把握のひとつに電話相談を含む個人面談、「子育て相談箱」への投函があり、ここからの個別相談対応は、連携機関の「足立区こども支援センター」など専門家のアドバイスを受けて利用者への回答するとともに、クラス職員にも伝えて保育の中で活かしています。また別途、星風会グループの小規模保育園の三園合同で、「保育園評価のお願い」（アンケート）を年度末に実施しています。アンケート結果は、「保育園評価の集計結果について」と題する文書にまとめ、これを保護者に要望への対応を回答しフィードバックしています。 <u>園を取り巻く内外の環境から課題を抽出し、必要な対応を図っています</u> 職員の意向については、毎年職員の自己評価や自己申告書を通じ、異動などの希望も含めて確認しています。地域福祉の現状については、足立区教育だよりや研修での情報、系列園からの情報等により把握しています。また、地域保健センター（イベント情報）、子育てサポーター（お知らせ）、連携施設園（保健たより）などから、その時の最新情報も得ており、保育活動に取り入れています。園として検討や解決をすべき内容については、園長会議や職員会議などの場で対応を協議し、決定しています。 <u>園の目指す姿の現実化に向け、より具体的な中・長期計画が期待されます</u> 園の目指す姿、「人への愛情・信頼感が育つ保育で、人権を大切にすることを育み、園を笑顔でいっぱいにする」をさらに追求するため、「職員の育成」、「長時間保育のニーズへの対応」など課題を抽出しています。設備計画では、テラス修繕やバギーの購入等は本部へ都度の申請予算枠で賄えるとのことでしたが、職員のレベルアップや長時間保育への仕組みの充実には、3年間が見込まれています。現在の中・長期計画は、大枠の方向性を示していますが、何をいつまでにどのようにしたいのか、現実化に向けた具体案をより明確にしておくことが期待されます。			
3	カテゴリー 3 経営における社会的責任 サブカテゴリー 1（3 - 1） 社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 2 / 2 評価項目 1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる 評価 標準項目 ●あり ○なし 1. 全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理（個人の尊厳を含む）などを周知し、理解が深まるように取り組んでいる ○非該当 ●あり ○なし 2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理（個人の尊厳を含む）などが遵守されるように取り組み、定期的に確認している。 ○非該当 サブカテゴリー 2（3 - 2） 利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 4 / 4 評価項目 1 利用者の意向（意見・要望・苦情）を多様な方法で把握し、迅速に		

対応する体制を整えている		評点 (○○)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	○非該当
●あり ○なし	2. 利用者の意向 (意見・要望・苦情) に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある	○非該当
評価項目 2		
虐待に対し組織的な防振対策と対応している		評点 (○○)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している	○非該当
●あり ○なし	2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている	○非該当
サブカテゴリー 3 (3 - 3)		
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 5 / 5
評価項目 1		
透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる		評点 (○○)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	2. ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などの受け入れ体制を整備している	○非該当
評価項目 2		
地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている		評点 (○○○)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをしている	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が地域の一員としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク (事業者連絡会、施設長会など) に参画している	○非該当
●あり ○なし	3. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる	○非該当
カテゴリー 3 の講評		
<u>園全体で守るべき法、規範、倫理などが遵守されるよう取り組んでいます</u> 園として、子ども、保護者に満足を与える保育サービスの提供には、就業規則、行動指針及び服務規程など、保育士の基本的な心構えとして位置付け、職員の採用時から周知させ、職員間でも共有しています。星風会グループ内では、とくに重要なものとして、「心のこもったサービスを目指して」と題する接遇マニュアル、法令遵守基準等があり、職員本人が手元におき、年度初めの分担決めや園内研修などにおいて、繰り返し確認をしています。このように園全体で守るべき法、規範を明らかにしてその遵守の徹底を図っています。		
<u>虐待の早期発見・防止に向けて、手順・体制の研修を積み重ねています</u> 虐待の早期発見・防止に向け、「保育実践振り返りシート」(区作成) 及び「虐待防止マニュアル」(足立区準拠) を用いて、職員が相互に日常の言動を振り返り、「人権意識を身につける」(冊子) と一緒に読み合わせもするなど、虐待防止対策への意識づくりを徹底しています。また、子どもの様子で気になることがある場合には園長へ報告と相談記録に記帳し、虐待の疑いのある事実が確認されれば、足立区こども支援センターげんきなど関係機関と連携する体制を整えています。		

	<u>園の活動の透明性を高めて地域と連携し、地域貢献の体制を整えています</u> 園の活動内容は、ホームページを使い、保育理念・目標、行事（写真）及び食育など分かりやすく公開しています。また、令和元年から、園の連携施設である「東綾瀬保育園」（公立）とは、お互い訪問をし合うなど、密接な関係を維持しており、「連携機能実施状況報告書」を足立区に提出しています。また、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、実施には到りませんでした。が、地域保育支援、保護者支援枠の観点から、研修を受けた区民の子育てホームサポーターのフォローアップ研修、また保育教育実習生の受入れ体制も整えています。		
4	カテゴリー 4		
	リスクマネジメント		
	サブカテゴリー 1（ 4 - 1 ）		
	リスクマネジメントに計画的に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 5 / 5
	評価項目 1 事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる 評点（○○○○○）		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク（事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など）を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている	○非該当
	●あり ○なし	2. 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている	○非該当
	●あり ○なし	3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画（BCP）を策定している	○非該当
	●あり ○なし	4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる	○非該当
	●あり ○なし	5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる	○非該当
	サブカテゴリー 2（ 4 - 2 ）		
	事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 4 / 4
	評価項目 1 事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている 評点（○○○○○）		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員（実習生やボランティアを含む）が理解し遵守するための取り組みを行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要ときに活用できるように整理・管理している	○非該当	
●あり ○なし	3. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている	○非該当	
●あり ○なし	4. 事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している	○非該当	
カテゴリー4の講評			
<u>新型コロナウイルス感染症に対し、行政ガイドライン・通知を取り入れた仕組みを整えています</u> 新型コロナウイルス感染症への対応については、行政からの最新情報を常に取り入れています。例えば、最近では、「新型コロナウイルス感染症対策について」（足立区発行）に示された対策ポイントを、毎月の「保健たより」に記載して保護者に配布し、園内においてもいざという場合に備え、職員が見てすぐに対応できるように掲示をしています。また、万が一、感染症の疑いのある所見が利用者のご家族で見られた場合には、保護者から電話での報告を受け、区への連絡を取り、登園時には証明書を必要とするルール体制をとっています。			

	BCP策定のみならず、保育サービスについても、事業所リスクを抽出しています		
	地震、水害、災害、新型コロナウイルス感染症対策を含んだ、「ステラ綾瀬保育園のBCP（2021年版）」を策定しています。また、感染や事故への予防対策について、職員会議で話し合い、対応を分析し、再発防止や見直しに取り組んでいます。職員アンケートでもその活動に対して、高評価であり、認識が高いことがうかがえます。また、保育サービスにおけるリスクとしては、0歳児の長時間保育について、対応可能な人材の育成、力量アップを課題として認識しており、中・長期的な計画策定とそれに基づく活動が期待されます。		
	情報管理の方法を規程に定め、情報漏洩への配慮含め適切な管理・利用に努めています		
	園で使用する文書は、情報保護の対象であることを職員管理マニュアル（行動指針）で明確にしており、園外への持ち出し厳禁がルールです。対象は、「保育園文書」にて一覧表にしてあり、保管期限を設定し、取り扱い方法（情報の収集、利用、保管、廃棄など）は服務規程に定めています。これらの文書はカギのかかる書庫にて、整理・整頓が行き届いた保管・管理がされており、園の稼働時間帯のみ閲覧可能です。また、PCは園長のみのパスワードでの利用可能としており、アクセス制限を設けて細心の注意が払われています。		
5	カテゴリー 5		
	職員と組織の能力向上		
	サブカテゴリー 1（5 - 1）		
	事業所が目指している経営・サービスを実現する 人材の確保・育成・定着に取り組んでいる	サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	12 / 12
	評価項目 1 事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている 評点（〇〇）		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している	○非該当
	●あり ○なし	2. 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる	○非該当
	評価項目 2 事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している 評点（〇〇）		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望（キャリアパス）が職員に分かりやすく周知されている	○非該当
	●あり ○なし	2. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望（キャリアパス）と連動した事業所の人材育成計画を策定している	○非該当
	評価項目 3 事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる 評点（〇〇〇〇）		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している	○非該当
	●あり ○なし	2. 職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成（研修）計画を策定している	○非該当
	●あり ○なし	3. 職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成（研修）計画へ反映している	○非該当
	●あり ○なし	4. 指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている	○非該当
	評価項目 4 職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる 評点（〇〇〇〇）		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇（賃金、昇進・昇格等）・称賛などを連動させている	○非該当

●あり ○なし	2. 就業状況（勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど）を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	3. 職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	4. 職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている	○非該当
サブカテゴリー 2（5 - 2）		
組織力の向上に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 3 / 3
評価項目 1 組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる 評点（○○○）		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している	○非該当
●あり ○なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす仕組みを設けている	○非該当
●あり ○なし	3. 目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる	○非該当
カテゴリー 5 の講評		
<u>人材確保に向けて、グループ全体で大学や専門学校の訪問を毎年計画し実行しています</u> 園が求める人材の確保に向け、法人本部および系列園が加わり、「学校訪問予定」をもとに、大学や専門学校等を訪問し、理念や方針、園の特色や日常の保育の紹介を含め、PR活動を継続的に実施しています。また、人材紹介や派遣にも必要時には依頼を掛けています。なお、人事異動や配置については、採用時での希望確認のほかに、年に一度、グループ全体で意向調査（アンケートのみでなく、面談を通しての意向確認を含む）を行っており、柔軟な異動や配置に配慮しています。		
<u>園の求める人材像と職員の意向を踏まえ、年度毎に教育訓練計画書を策定しています</u> 年度毎に職員一人ひとりの意向を踏まえ、教育訓練計画（都のキャリアアップ研修含む）があり、身に着きたい保育専門分野、実践保育（時代に合ったもの）及びマネジメント研修など、幅広い視野で職員の能力向上を意図し取り組んでいます。一方、園の職責、職務内容に対応した長期的展望は、園長が日々の職員とのコミュニケーションのなかで伝えていますが、具体的なキャリアパス（長期的視点）の見える化と、それに連動した教育計画、及びこれらの周知の仕方に課題が一部見えており、職員へのわかりやすい説明が期待されます。		
<u>職員の働きやすさに配慮し、意欲向上とチームワークの促進に取り組んでいます</u> 職員の能力に応じた自己評価表をベースに、向上の状況を把握して、園長による星風会グループへの「処遇改善に係る推薦書」の提出により、年に一度、手当アップがされる仕組みがあります。また、働き方改革の考え方を取り入れ、職員は少人数でのローテーション勤務ではあるものの、休暇や振休など本人申請を受け入れています。さらに、職員が外部で学んだ研修内容は、園内研修として位置付けて全員で情報共有し、改善や保育の実践に一層活かそうと取り組み中であり、さらなるモチベーションアップ、一体感及び安心感につなげることが期待されます。		

7	カテゴリー 7	
事業所の重要課題に対する組織的な活動		
サブカテゴリー 1 (7 - 1)		
事業所の重要課題に対して、目標設定・取り組み・結果の検証・次期の事業活動等への反映を行っている		
評価項目 1		
事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている (その 1)		
前年度の重要課題に対する組織的な活動 (評価機関によるまとめ)		
課題目標として、「子どもの人権や主体性を尊重した保育の実践」を設定してしました。保護者など大人の環境の複雑さや様々な状況のなかで、子どもの人権が十分に守られているとは言えない事例を園ではこれまで見てきました。一方で、乳児の成長課程で「子どもが大切にされるべき」この時期に、人権を尊重した保育はとくに重要と考えていました。そこで少なくとも、子ども一人ひとりが園で過ごす時間帯においては、子ども自身がやりたいことを存分楽しめ、豊かな気持ちになるための遊びの環境づくりは必須と考え、具体的な取り組みとして、室内環境設定に力を入れていました。遊びやすいレイアウト、手作り感のある玩具など、子どもが自由に遊び込めるよう、全職員で話し合い、年齢別に対応を工夫していました。園にいる時の子供たちの活動状況は、登降園時にしっかりと保護者に伝え、子どもの変化に気づいてもらうべく、保護者と職員とがしっかりと情報共有をしながら、一体となる取組みをさせていました。また、職員は半期毎に保育実践振り返りシートを使つてのチェックも行っていました。		
目標の設定と取り組み	☒ 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った ☐ 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった ☐ 具体的な目標が設定されていなかった	
取り組みの検証	☒ 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った ☐ 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった (目標設定を行っていなかった場合も含む) ☐ 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である	
検証結果の反映	☒ 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた ☐ 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない ☐ 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である	
評価項目 1 で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評		
活動の結果、子ども一人ひとりが伸び伸び過ごせるようになってきており、職員の子どもを大切に思う心もさらに増し、子ども達の笑顔もたくさん見られるようになっていました。遊びの環境づくりは、子どもたちが手づくり玩具に興味を持ち、遊び易いコーナー場所を使って楽しそうに活動するまでになっていました。目標達成率は 80 % という園の評価です。就労しながらの子育ては、保護者にとって、思うようにいかないことがあるのは当然と理解した上で、子どもの権利保障をしてあげることが優先していました。子どもが主体的に遊べる環境は、保育士の声掛け方でも大きく変わるため、生活の場面では全て上手くいったとの結果ではないものの、少なくとも、一人ひとりを大切にする保育には繋がっていました。今回の活動を通して、子どもの権利を守り、不利益が生じないように保護者支援することは、園にとっては重要な役割であることを再認識したケースも多々あったとのことでした。職員は保護者との良い信頼関係づくり、また、園長は関係機関と情報共有しながら、継続的にこの活動を展開していく予定です。引き続き、今後の取り組みに期待します。		

評価項目 2 事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている（その2）	
前年度の重要課題に対する組織的な活動（評価機関によるまとめ）	
もう一つの課題目標は、「子どもの発達や状況に応じた、子育てについての適切な援助の実施」を設定していました。園においては、外国籍の入所児が増え、言語の問題、食事の問題、習慣の問題等多文化による課題が多くなっており、子ども自身の特性の状況を踏まえ、一人ひとりの子どもに寄り添う保育の展開の必要性や、様々な理由での養育困難家庭の場合には相談窓口が必須であり、関係機関との連携による保護者支援を進める必要性を認識していました。具体的な取り組みとして、保護者の思いを受け止める「相談窓口を設置する」こととし、対応の詳細は以下の4点に集約していました。 1．担任は個人面談等で保護者の悩みを受け止め、子どもの状況を共有しながら、成長発達に関することを話し合い、必要時には支援する、2．言葉がでないと心配する保護者には、発達支援相談等、専門の関係機関に繋ぎ支援をお願いする、3．保護者の疾病・障害により、子どもの状況が著しく不安定な状況を発見した時には、安定するための手立てを園長と職員がフォローする流れを確認して進める、4．コロナ禍において出来なかった、保護者向けの「子育て講座」は、今後の情勢に合わせて別途計画するなど取り組みました。	
目標の設定と 取り組み	● 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った ○ 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった ○ 具体的な目標が設定されていなかった
取り組みの検証	● 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った ○ 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていない（目標設定を行っていない場合も含む） ○ 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
検証結果の反映	● 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた ○ 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない ○ 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
評価項目 2 で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評	
課題への取組結果は、相談窓口を設置し、保護者の子育て相談は、保護者の安心につながる取り組みを実践していました。具体的な成果として、以下の5点に集約することができ、目標達成率はほぼ満点と評価しています。1．養育困難家庭には、児相、子ども支援センターげんき、保健センター、医療機関と連携した育児支援ができた。2．言語の遅れの発達相談は、子ども支援センターげんきの発達相談係へ繋げた支援を開始。卒室後の園への申し送りができた。3．次園の先行利用申し込み書類は、外国籍の方は記入が難しいため、園長が記入方法を説明しながら仕上げて提出できた。4．個々の発達については、保健センターと連携し、定期健診、予防接種等の漏れがないよう支援した。5．子育てサポーターの必要家庭に、ホームサポーターを仲介した。なお、今後の活動については、保育の質の向上に向けた取り組み、保育士一人ひとりのスキルアップ、そのための研修計画の策定、そして、保育実践を通して保育の進め方及び課題を共有し、必要時には園内研修で話し合いを深めて取り組むシステムの構築を考えており、さらなる取り組みの活動の展開が期待されました。	

〔サービス分析：小規模保育事業〕

Ⅱ サービス提供のプロセス項目（カテゴリー6-1～3、6-5～6）

No	共通評価項目		
1	サブカテゴリー1		
	サービス情報の提供	サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 4 / 4	
	評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している 評点（○○○○）		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している	○非該当
	●あり ○なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものにしている	○非該当
	●あり ○なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	○非該当
	●あり ○なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している	○非該当
	サブカテゴリー1の講評		
	<u>パンフレットや入園のしおり、ホームページで保育方針や保育時間等、情報発信しています</u> 表紙にイラストを配した情報量の多いパンフレットや入園のしおりを用意し、概要として対象年齢、保育時間、定員、職員、嘱託医の名前も記載しています。また、保育の基本理念、運営方針、保育目標等を掲載し、保育方針が「豊かな人間性を持った子どもを育成する」、保育目標が「じょうぶな身体、元気な子、明るくやさしく、素直な子、みんなと仲よく遊べる子」であることを明記しています。法人ホームページでも園の情報を紹介しています。他に区内の子育てサービス全般を掲載しているガイドブックからも園の情報をとることができます。		
2	サブカテゴリー2		
	サービスの開始・終了時の対応	サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 6 / 6	
	評価項目1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている 評点（○○○）		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている	○非該当
	●あり ○なし	2. サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている	○非該当
	●あり ○なし	3. サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている	○非該当
	●あり ○なし	4. サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている	○非該当
	サブカテゴリー2の講評		
	<u>見学者を1組ずつ受け入れ、園長または副主任が保育内容や園の特徴を説明しています</u> 見学希望者には前もって電話等で予約をお願いし、日程は見学者の希望を聞いて一組ずつ設定しています。現在は、新型コロナウイルス感染症防止に配慮して、短時間で玄関から中を見てもらうこととし、園が大切にしている保育目標や環境などを伝えていきます。見学者用のしおりを渡し、持ち物、保育時間、保育士の人数などについて話し、質問にも答え、入園申し込みの参考にしてもらっています。妊婦や祖父母の見学もあり、職員と子どもの関わりについて、子どもが入園した時をイメージできるように説明しています。見学者の情報は受付簿に記載しています。		

	●あり ○なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している	○非該当	
	●あり ○なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている	○非該当	
	●あり ○なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	○非該当	
	評価項目 2			
	サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている		評点 (○○○)	
	評価	標準項目		
	●あり ○なし	1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	○非該当	
	●あり ○なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している	○非該当	
	●あり ○なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている	○非該当	
	サブカテゴリー 2 の講評			
	<u>入園する子どもの保護者には、面談をおこない園のルールやサービス内容を説明しています</u> 入園が決定した人には、園から電話連絡して入園の意思を確認し、児童票・健康記録などの入園に必要な書類を園に取りに来てもらうか郵送しています。入園前の個別面談では、記入して持参してもらった必要書類を確認しながら、園長が重要事項説明書に沿った説明して納得の上で契約をしています。その後担任から集団生活での約束事なども説明し、用意する物は実物をサンプルとして提示し、質問にも答え、説明漏れがないように確認書を交わしています。慣らし保育の予定や、意向食や食物アレルギー等の配慮、個人情報の取り扱いも確認しています。			
	<u>入園という環境変化が子どもにストレスを与えないように慣らし保育をおこなっています</u> 入園当初の慣らし保育の有無は保護者の職場事情も考慮し、就労の都合や子どもの状態を見て個別に決定しており、約一週間をかけて少しずつ時間を延ばすなど、子どもの負担を軽減しています。園側も、新入園児一人ひとりを、共通の理解で迎えることができるよう、入園前面談記録等で職員が情報を共有しています。朝の受け入れでは連絡帳の記載事項や保護者との会話から子どもの様子を聞き取り、降園時には保護者への声掛けを増やして一日の子どもの様子を伝えています。保護者の緊張が取れ、希望、要望が気軽に話せる関係になるように配慮しています。			
	<u>転園や退園後も、子どもや保護者と継続的な交流を図っていきたいと考えています</u> 保護者の転居など様々な理由で退園していく子どもには、健康の記録や制作帳、作品集などを渡し、寄せ書きや写真付きのカード、手紙などを渡して、クラスの皆でお別れをしています。保護者に不安がある時は個人面談を実施するなどして不安の軽減やアドバイスをしています。退園・卒園児の住まいが園の近くの場合は保護者の相談に乗ることもあります。0歳児から2歳児の在籍のため、3歳児クラスに進級の折には全員が他園に行くこととなりますが、継続的な交流を図っていきたいと考えており、近くに来た際は立ち寄って下さいと話しています。			
	3	サブカテゴリー 3		
		個別状況の記録と計画策定		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 12 / 12
評価項目 1				
定められた手順に従ってアセスメント（情報収集、分析および課題設定）を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している		評点 (○○○)		
評価		標準項目		
●あり ○なし		1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	○非該当	
●あり ○なし		2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	○非該当	
●あり ○なし		3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	○非該当	
評価項目 2				

全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している		評点 (○○○○○)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護 (生命の保持・情緒の安定) と教育 (健康・人間関係・環境・言葉・表現) の各領域を考慮して作成している	○非該当
●あり ○なし	2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、作成、見直しをしている	○非該当
●あり ○なし	3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況 (年齢・発達状況など) に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている	○非該当
●あり ○なし	4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している	○非該当
●あり ○なし	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直ししている	○非該当
評価項目 3		
子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している		評点 (○○)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある	○非該当
●あり ○なし	2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	○非該当
評価項目 4		
子どもの状況等に関する情報を職員間で共有している		評点 (○○)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している	○非該当
●あり ○なし	2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している	○非該当
サブカテゴリー 3 の講評		
<u>子どもの情報を見童票に集約し、日々の様子や成長する姿を丁寧に記録しています</u> 入園前の面談では、保護者の記入した見童票、生活状況表等を基に保護者の意向を聞いています。子どもの基本的な情報、家庭状況、成育歴、発育歴、予防注射の接種状況、緊急連絡先やかかりつけ医などの情報や、保育園までの道順なども見童票ファイルを見れば一目でわかるようにしています。日々の保護者とのやり取りは連絡帳を活用し、個人の月間指導計画を作成し、日々の活動は保育日誌に丁寧に記録しています。他にも個人面談の記録を綴じて日常の保育に役立てています。子どもの情報はクラス別にファイルして検索しやすくしています。		
<u>作成した月・週の指導計画について、職員全員で検討したりアドバイスの機会が望まれます</u> 「全体的な計画」は法人本部が作成しています。年間指導計画は、園の特徴や地域の特性を加え園独自のものとなっており、通常は2月中に全体反省をし、3月の終わりには次年度分が出来上がっています。月案、週案共に子どもの発達等を考慮して立案していますが、指導計画は職員当番で立案し園長が確認する仕組みとなっています。今後は出来上がった月案、週案を職員全員で意見を出し合う環境が望まれます。保護者には、園だよりの「今月の目標」等で保育の狙いを知らせていますが、指導計画を保護者にわかりやすく説明する機会の創設も望まれます。		
<u>毎日のミーティングとその記録、日誌、職員会議などで子どもの情報を把握しています</u> 見童票等子どもに関する情報は、必要な時に保育士がいつでも確認できるようにしています。職員のほとんどが保育士資格を持つ常勤職員のため、記録のスキル等を十分に身に付けています。毎月一回定例で行う職員会議ではクラスの子どもの様子を報告し、共通の認識で保育に取り組めるようにしています。毎日園ミーティングを行い、日誌には保護者からの連絡や子どもの変化等を記入し、職員間の口頭での確認も行って連絡漏れを防いでいます。月一回職員会議を実施し、記録の回覧内容を共有しています。出勤した職員は、職員ミーティングノートを確認しています。		

5	サブカテゴリ-5		
	プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重		サブカテゴリ-毎の 標準項目実施状況 5 / 5
	評価項目 1 子どものプライバシー保護を徹底している 評点 (〇〇)		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 子どもに関する情報 (事項) を外部とやりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている	○非該当
	●あり ○なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている	○非該当
	評価項目 2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している 評点 (〇〇〇)		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	○非該当
	●あり ○なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている	○非該当
	●あり ○なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	○非該当
	サブカテゴリ-5 の講評		
<u>園でのプライバシーの取り扱いについて入園時に説明し、保護者の理解を得ています</u> 個人情報に関しては特に配慮しており、園で知りえた子どもと保護者の情報は他に漏れないように留意しています。入園時に個人情報の取得制限、管理、開示等についても保護者に説明しています。ホームページ掲載も保護者に確認し、意向に沿っています。子どもの生活環境や家族構成等も守秘義務を守っています。重要書類を放置しない、決められた場所での保管、持ち出し注意、来訪者への配慮などに関して園長を中心に職員間で徹底しています。子どもの羞恥心に配慮し、おむつ替えは部屋の奥の決まった場所で行い、着替えもパーテーションを使用しています。			
<u>肯定的な言葉で語りかけ、一人ひとりの子どもと保護者の価値観を大切にしています</u> 子どもの名前に「ちゃん」「くん」を付け、職員は否定語を使用しないなど、一人ひとりの子どもと大切に関わる様子は訪問調査で確認することができました。家庭によって異なる価値観や生活習慣があることを十分理解し、子どもと保護者の気持ちを大切にした保育を実践しています。送迎時の会話、連絡帳の記載は、子育てについての意見交換の機会となっており、子どもの家庭での生活サイクルや、保護者の持つ価値観を汲み取るようにしています。全園児に個別指導計画を立て、保護者にねらいを伝え、感想を貰っています。			
<u>経験豊富な園長を中心に他機関との連携を図り職員が虐待防止や権利擁護を学んでいます</u> 虐待防止に関して様々な研修資料を用いて、職員が共有する機会を持ち、法人内の「権利擁護研修」では不適切保育の例をあげるなどして、人権に関する意識を高めています。区のガイドラインに沿った「振り返りシート」を使用し、自らの言動や保育を再確認する機会を設けています。職員は日々の保育でお互いの言動やマナーの向上に努めており、人権尊重の保育について職員の意識の高さは随所に見られています。育児困難家庭の支援や保護者支援にも取り組み、配慮が必要な子の保育等で知識と経験の豊富な園長を中心に専門機関との連携も取れています。			
6	サブカテゴリ-6		
	事業所業務の標準化		サブカテゴリ-毎の 標準項目実施状況 5 / 5
	評価項目 1 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている 評点 (〇〇〇)		
	評価	標準項目	

	●あり ○なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	○非該当
	●あり ○なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている	○非該当
	●あり ○なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	○非該当
	評価項目 2		
	サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている 評点 (○○)		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は改変の時期や見直しの基準が定められている	○非該当
	●あり ○なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	○非該当
	サブカテゴリー 6 の講評		
	<u>日常保育に必要な手順書、マニュアルが整えられ、業務標準として活用されています</u> 園の運営にかかわる手順・マニュアル類には、食事面（アレルギー対応含む）、健康管理（感染症対策含む）、事故防止、安全環境、虐待対応、危機管理、苦情解決など取り揃えており、保育活動の拠り所として文書保管がされています。それらは書棚に、項目分類、学年識別、最新版など整理・整頓された形で保管がされており、職員が閲覧したいときにすぐに利用ができ、新たな入職者には、保育に必要な関連マニュアルのコピーを配布して導入教育に活用しています。また、保育園文書一覧があり、足立区のガイドラインに従って保存年限も明示しています。		
<u>手順書、マニュアルは、リアルタイムに改訂する仕組みの運用をしています</u> 保育の基本事項や手順が、標準的なものとして適切であるかの点検は、主に本部の役割とはなっていますが、園においても、新しい職員が入る時には事前に「保育士業務マニュアル」の見直しをしています。食物アレルギーの対応マニュアルについては、足立区教育委員会の最新資料（令和3年4月）をすでに取り入れていたり、子どもに言葉を教える際の職員の丁寧な言葉使い等を「接遇マニュアル」に反映する予定もありました。重要な事項は、リアルタイムにマニュアル改訂をして反映する仕組みの運用がされています。			

III サービスの実施項目（カテゴリー6-4）

	サブカテゴリ-4																				
	サービスの実施項目	サブカテゴリ-毎の 標準項目実施状況 33 / 34																			
1	評価項目 1 子ども一人ひとりの発達状態に応じた保育を行っている 評点 (○○○○○) <table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th><th>標準項目</th><th></th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>●あり ○なし</td><td>1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている</td><td>○非該当</td></tr> <tr> <td>●あり ○なし</td><td>2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけることができるよう、環境を工夫している</td><td>○非該当</td></tr> <tr> <td>●あり ○なし</td><td>3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している</td><td>○非該当</td></tr> <tr> <td>●あり ○なし</td><td>4. 特別な配慮が必要な子ども（障害のある子どもを含む）の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している</td><td>○非該当</td></tr> <tr> <td>●あり ○なし</td><td>5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル（けんか・かみつき等）に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている</td><td>○非該当</td></tr> </tbody> </table> 評価項目 1 の講評 <u>子ども自らが玩具を選んで遊べるように、生活状況や発達に合った保育環境を整えています</u> 子どもたちにとって保育室が安全で楽しく過ごせる環境となるようにと考え、園は環境壁面担当係を設け、助言し合っています。職員は子どもの遊びを見守り、子どもが自ら考えて遊ぶことを大切にしています。現在5カ月から1歳8か月の子どもが同じ空間で過ごすこともあり、月齢の幅を考慮してレイアウト変更を頻回に行っています。1歳児2歳児は、ままごとなどのごっこ遊びに夢中なので、職員が電化製品やキッチン用品を手作りし置いています。天蓋からカラーのリボンを吊したり、壁を季節の雰囲気などに飾り、情緒の分化や成長に合った環境を整えています。 <u>年齢の違う子どもが共に活動する場では、子ども同士の触れ合いが深まるようにしています</u> 子どもたちが職員に温かく見守られながら自由に遊び、一人遊びから皆で遊ぶ楽しさを知り、自己表現や達成感を感じています。職員との関わりから、自分が大切にされていることを実感し、子どもたちに思いやりの心が芽生えています。異年齢で過ごす中で刺激を受け、理解を深め友達関係を広げたり、学び合えるようにしています。外国籍等日本語を話さない保護者の子どもの受け入れでは十分配慮しています。発達過程で個別配慮が必要なケースでは区の専門機関から助言を受けることも可能で、行動理解や関わり方を学び職員が共有して保育に活かしています。 <u>子どものトラブルでは、互いの気持ちを汲み取りながら援助し、保護者の理解を得ています</u> 年齢の小さい子ども同士のトラブルには、双方の思いを汲み取りながら職員が仲立ちして、気持ちを伝えられるように話しています。自我が育つ中で、言葉でやり取りできない時期ですので、友達の遊んでいる玩具を取ったりするトラブルはあり、職員はその都度言葉か仕草で伝えるようにしています。ヒヤリハットに載せ、職員が環境を見直ししてけがの無いように見守っています。保護者にはトラブルの内容を、実際の情景を含めて話しています。場合によっては噛みついた子どもの保護者にも、子どもの心情を伝えながら、事実を伝えるようにしています。			評価	標準項目		●あり ○なし	1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている	○非該当	●あり ○なし	2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけることができるよう、環境を工夫している	○非該当	●あり ○なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している	○非該当	●あり ○なし	4. 特別な配慮が必要な子ども（障害のある子どもを含む）の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している	○非該当	●あり ○なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル（けんか・かみつき等）に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている	○非該当
評価	標準項目																				
●あり ○なし	1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている	○非該当																			
●あり ○なし	2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけることができるよう、環境を工夫している	○非該当																			
●あり ○なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している	○非該当																			
●あり ○なし	4. 特別な配慮が必要な子ども（障害のある子どもを含む）の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している	○非該当																			
●あり ○なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル（けんか・かみつき等）に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている	○非該当																			
2	評価項目 2 子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている 評点 (○○○○) <table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th><th>標準項目</th></tr> </thead> <tbody> </tbody> </table>			評価	標準項目																
評価	標準項目																				

	●あり ○なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している	○非該当																					
	●あり ○なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排泄などの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している	○非該当																					
	●あり ○なし	3. 休息（昼寝を含む）の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している	○非該当																					
	●あり ○なし	4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている	○非該当																					
	評価項目 2 の講評																							
	<u>登降園時は、園長はじめ職員がその日の出来事やエピソードを保護者に伝えています</u> 園の玄関を入ると保育室が見渡せる環境のため、職員が挨拶しながら駆け寄り、笑顔で子どもと保護者を迎えています。登園時の対応としては、機嫌は良いか、顔色や全身状態はどうかなど確認しながら一人ひとり検温しています。連絡帳の閲覧とともに保護者に子どもに変化がないかを聞いています。発熱等で気になる場合は再度の検温をしています。降園時のお迎えの時間や、いつもと違う人のお迎えの場合は職員間で申し送っています。降園時はその日初めてできたことなどを伝えるなどして、親子で会話しながら楽しく帰宅してもらえるように配慮しています。																							
	<u>無理なく意欲的に生活習慣を身に着けることができるように、園と家庭が協力しています</u> 朝の会の後に子どもたちは、散歩に出かける準備を済ませ、帽子をかぶり、靴を履いて並びます。散歩から帰ると、自分から帽子を取ってトイレに行き洗面所で手を洗います。0歳児も1歳児も徐々に一人でできるようになっています。食事やおやつへの挨拶もできます。トイレトレーニングは排尿間隔を把握し、一人ひとりの発達や意欲を家庭と確認し合いながら進めています。降園時の支度も2歳児は自分でできるようになっています。職員は子どもの発達を理解し、適切な時期に援助ができるようにしており自分でできた時は大いに褒めて意欲につなげています。																							
	<u>子どもの年齢や体調、活動内容に応じて、お昼寝や休息を取れるようにしています</u> 長時間一緒に過ごす子どもたちが機嫌よく過ごし、健康を維持するためにお昼寝や休息は大切な時間と考えています。家庭での睡眠時間や体調を保護者から聞いて、必要な子どもには午前中も眠れる場所を設けています。午前睡や昼寝をして徐々に一回寝のリズムができるようにしています。子どもたちの個人差を考慮し、早く目覚めた子どもは身体を休めたり、静かな遊びをして過ごしています。園は、寝心地の良い午睡用の布団を用意しています。また、寝ていて排泄失敗した時にも、すぐに乾く扱い勝手が良いマットを用意しています。																							
3	評価項目 3 日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している 評点（○○○○○○） <table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>標準項目</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている</td> <td>○非該当</td> </tr> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している</td> <td>○非該当</td> </tr> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉による伝え合いを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している</td> <td>○非該当</td> </tr> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている</td> <td>○非該当</td> </tr> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている</td> <td>○非該当</td> </tr> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>6. 生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気付き、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している</td> <td>○非該当</td> </tr> </tbody> </table>			評価	標準項目		●あり ○なし	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	○非該当	●あり ○なし	2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	○非該当	●あり ○なし	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉による伝え合いを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している	○非該当	●あり ○なし	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている	○非該当	●あり ○なし	5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている	○非該当	●あり ○なし	6. 生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気付き、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している	○非該当
評価	標準項目																							
●あり ○なし	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	○非該当																						
●あり ○なし	2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	○非該当																						
●あり ○なし	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉による伝え合いを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している	○非該当																						
●あり ○なし	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている	○非該当																						
●あり ○なし	5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている	○非該当																						
●あり ○なし	6. 生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気付き、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している	○非該当																						
評価項目 3 の講評																								
<u>子どもたちが自ら考えて行動できるように配慮し、体験を増やせるようにしています</u> 0歳から2歳までの子どもたち19名定員の小規模の園の良さを生かし、きめ細かな保育に取り組んでいます。職員は各年齢の発達段階を理解し、体験を増やせるように環境を整えています。副主任をはじめ職員は、子どもが人																								

	と関わる力を養うためには、安心感を感じながら日々生活することが大切と考え、子どもに向き合い、しっかりと受け止めながら優しく声掛けし、子どもの求めている事柄を察知して保育に取り入れています。家庭的な空間にソファや人形を置き、パズルや型はめ、ブロックなど子どもが興味関心を持てるコーナーを作っています。										
	<u>様々な表現を楽しみ、言葉への興味と関心を育てる絵本や紙芝居などを用意しています</u> 子どもの表情やしぐさを逃さず受け止め、気持ちを言語化する力に長けた職員が多く、表現遊びとして季節の制作や描画、歌やリズム、運動遊びなど、いずれも子どもが楽しい気持ちを自由に表現できるようにしています。玩具の入れ替えでは、多すぎず少なすぎず補充するなど配慮しています。言葉への興味を広げる年齢の子どもたちのために、絵本や紙芝居、図鑑などを手に届くところに置き、わかりやすく綺麗な言葉で話し、否定的な表現をしないことを職員は申し合わせています。訪問調査時も子どもを抱いて優しく話す職員の姿を見ることができました。										
	<u>戸外遊びや散歩・散策を通して季節の変化を感じるなど、豊かな感性を育てています</u> 戸外遊びや散歩・散策で子どもたちは五感に刺激を受け、たくさんのことを発見しています。天気の良い日は毎日散歩に出かけており、職員は子どもの数や天候などを考慮して目的を持って出かけています。近隣には水場や水車がある大きな公園があり、恵まれた環境です。固定遊具で運動をしたり、虫探しの探索活動で発見を楽しんだり、四季折々の季節の変化を体感しています。玄関にお散歩マップを掲示し、拾い集めた木の実を使った制作を玄関に飾るなどで保護者に活動を知らせています。ルールのある遊びやゲームで約束事についても徐々に理解しています。										
4	評価項目 4 日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している 評点 (○○○) <table border="1" style="width:100%"> <tr> <th style="width:15%">評価</th> <th style="width:85%">標準項目</th> </tr> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している ○非該当</td> </tr> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している ○非該当</td> </tr> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている ○非該当</td> </tr> </table>			評価	標準項目	●あり ○なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している ○非該当	●あり ○なし	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している ○非該当	●あり ○なし	3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている ○非該当
評価	標準項目										
●あり ○なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している ○非該当										
●あり ○なし	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している ○非該当										
●あり ○なし	3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている ○非該当										
	評価項目 4 の講評										
	<u>行事は日常の保育の延長と考え、子どもが興味を持って参加できるように工夫しています</u> 過去の園行事の規模を見直し、子どもたちが楽しめる範囲で実施しています。手作りの温かい雰囲気大切に、子どもたちの成長につながる行事を企画しています。遠足ごっこは、お茶とお菓子と敷物を持って、いつもと違う公園にでかけました。5月と10月に1歳児と2歳児が別々に出かけました。9時45分出発11時に帰園する子どもに負担の無い企画にしました。運動会ごっこは公園の広場で行い、かけっこでは、職員手作りの布製果物を籠の中から好きなものを選んでシートに張り付けてゴールする企画で楽しみました。体操や玉入れも頑張りました。										
	<u>行事の多くが子どもだけの実施となり、保護者にはお便りや写真掲示で知らせています</u> 行事は、子どもの心に残る思い出になり、経験や成長につながるように企画しており、保護者にも子どもの成長を喜んでもらいたいと考えています。年度の初めに年間予定表を配付し園だよりや連絡帳、掲示等で保護者に取り組みを伝えています。今年は新型コロナウイルス感染症対策で、今まで保護者参加であった行事も多くの保護者を誘うことができませんでした。保護者の参加人数を限った行事もあり、園は登降園時の会話で準備の様子を話し、家庭でも話題にしてもらっています。										

5	評価項目 5		
	保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている		評点 (○ ○)
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている	○非該当
	●あり ○なし	2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている	○非該当
	評価項目 5 の講評		
6	評価項目 6		
	子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している		評点 (○ ○ ○ ○)
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	○非該当
	●あり ○なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	○非該当
	●あり ○なし	3. 子どもの体調 (食物アレルギーを含む) や文化の違いに応じた食事を提供している	○非該当
	●あり ○なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み (食材の栽培や子どもの調理活動等) を行っている	○非該当
	評価項目 6 の講評		
	<u>季節の新鮮な食材を使用し、子どもの嗜好に合った献立で、美味しい食事を提供しています</u> 栄養バランスの取れた献立の中に、毎月季節の行事食があり、子どもたちの嗜好に合ったバランスの良い給食と手作りおやつを提供しています。楽しく食べることを第一に考え、離乳食は完了に向けて個別対応しています。新型コロナウイルス感染症対策で1歳児と2歳児のテーブルはパーティションで仕切っています。訪問調査には、会話をせずに食事を摂る約束のなか、職員が隣に座って一口ずつ丁寧に口に運び「人参さんいかが」と話しかける姿を確認できました。子どもに合わせた量で完食の喜びを体験できるようにし、食具も子どもに合ったものを用意しています。		
	<u>食物アレルギー対応や配慮食の提供では、入念なチェック体制で臨んでいます</u> 食物アレルギーの有無や種類は入園面談で把握しています。「足立区保育園子ども園版食物アレルギー対応マニュアル」に沿って個別の対応をしています。職員は当日のアレルギー対応食、除去食を確認し、配膳時には二重三重		

	にチェックし、トレーもプレートも変えて誤配膳を防いでいます。意向食、配慮食の希望にも応えており、宗教上食べることができない食品を除去して提供しています。食物アレルギー、宗教上の配慮食共に、保護者と面談し、毎月献立を渡し、チェックした食品を園長が再度確認し、調理、盛り付けでも注意し、誤食を防いでいます。														
	<u>夏野菜の栽培や、絵本や歌を題材に年齢に合った楽しい食育活動に取り組んでいます</u> 年齢に合わせた食育活動として、食材がモチーフの絵本を読み、歌を歌うなど、楽しみながら食に関心が持てるようにしています。食事では無理強いせずに色々な味を体験することで、苦手な食材も口にできるようになっています。プランターに植えた夏野菜に水を上げて成長を観察し、収穫したピーマンなどでスタンプをして作品を作りました。野菜を皆で触って感触を確かめ、子どもたちが食に対して積極的な気持ちになるようにしています。毎月の食育だよりには、食に関する話題をたくさん掲載し、家でも食育に関心を持ってもらえるようにしています。														
7	評価項目 7 子どもが心身の健康を維持できるよう援助している 評点 (○○○) <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">評価</th><th style="width: 75%;">標準項目</th><th style="width: 10%;"></th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>●あり ○なし</td><td>1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している</td><td>○非該当</td></tr> <tr> <td>●あり ○なし</td><td>2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている</td><td>○非該当</td></tr> <tr> <td>●あり ○なし</td><td>3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み（乳幼児突然死症候群の予防を含む）を行っている</td><td>○非該当</td></tr> </tbody> </table> 評価項目 7 の講評 <u>新型コロナウイルス感染症予防やケガ、病気の予防について子どもたちと一緒に確認しています</u> 新型コロナウイルス感染症予防強化のため、子どもたちはパーテーションを置いて食事を摂っています。戸外遊び後の手洗いも年齢に応じた方法で促しています。保育活動では園児が間隔をあけて並んで座り、午睡のマットも離して敷くなど感染症予防に力を入れています。散歩に出かけるときは道の歩き方、横断歩道の渡り方、公園の遊具での遊び方など、子どもが自ら注意し事故やケガを避けることができるように話しています。絵本、パネルシアター、図鑑なども活用し健康教育に取り組んでいます。 <u>法人の嘱託医の来園で、定期的に健康診断を実施しています</u> 法人の嘱託医が来園し、全園児について年2回定期健康診断を実施しています。医師との触れ合いもあり、なんでも相談できるうえに、医師との連携で安心できる環境となっています。検診結果を保護者と共有しており、毎月の身体計測の結果も連絡帳の欄外に書いて保護者に知らせています。医療的なケアが必要な子どもの入園については、入園前面談で状況を把握し、医療機関の意見書で配慮事項を確認し、保護者と療養機関からの情報を共有し、集団生活の中で十分留意しています。安全管理、衛生管理マニュアルが整備されています。 <u>乳幼児突然死症候群や子どもの疾病や感染症情報を保護者と共有しています</u> 乳幼児突然死症候群については、0歳児は5分ごとに呼吸チェックを実施し、顔と体の向きも記録しています。登園時に検温をお願いし、その日の体調を確認しています。感染症発生時には掲示物で速やかに保護者に知らせています。入園時には子どもがかかりやすい感染症の取り扱いについて重要事項説明書の中で説明しています。園だよりにも季節の健康情報を掲載しており、区からのお知らせの他、掲示にて保護者宛情報提供しています。吐物処理セットも保育室に常備しています。連携施設園の看護師より情報を貰いながら「ほけんだより」を発行しています。			評価	標準項目		●あり ○なし	1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している	○非該当	●あり ○なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている	○非該当	●あり ○なし	3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み（乳幼児突然死症候群の予防を含む）を行っている	○非該当
評価	標準項目														
●あり ○なし	1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している	○非該当													
●あり ○なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている	○非該当													
●あり ○なし	3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み（乳幼児突然死症候群の予防を含む）を行っている	○非該当													
8	評価項目 8 保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている 評点 (○○○○●) <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">評価</th><th style="width: 75%;">標準項目</th><th style="width: 10%;"></th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>●あり ○なし</td><td>1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている</td><td>○非該当</td></tr> </tbody> </table>			評価	標準項目		●あり ○なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている	○非該当						
評価	標準項目														
●あり ○なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている	○非該当													

	○あり ●なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	○非該当
	●あり ○なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	○非該当
	●あり ○なし	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	○非該当
	●あり ○なし	5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している	○非該当
	評価項目 8 の講評		
<u>保護者の個別の事情に応じた柔軟な対応で、信頼関係を深めています</u> 入園前の面談では、保護者の就労状況に応じて意向を確認し、様々な理由による急な変更にも柔軟に対応しています。通院や予防接種などによる登園・降園の時間への配慮も個別の申し出を受け対応し、園は保護者一人ひとりの意向を大切に考えています。常に保護者の立場に立った対応を心がけ、いつでも気軽に話しかけてもらいたいと考えています。経験豊富な園長は保護者とたくさん話したいと考えており、会話や相談などの場面で保護者の意見・要望も聞いています。園だよりに育児のポイントを掲載しています。保護者の思いを日々の保育に活かしています。			
<u>連絡帳、園だよりや写真掲示で子どもの姿や活動を知らせ、保護者の意見を聞いています</u> 保育の見通しを保護者と共有し理解し合うために、園だよりやお知らせで保育のねらいを説明しています。子どもの日々の活動シーンを写真で紹介し、園玄関に掲示しています。撮りためた写真を集めて思い出のページとしてアルバムをつくり、進級時にプレゼントしています。連絡帳は子どもの表情や微笑ましい姿が伝わるように記入しています。「保育園評価」の集計結果を保護者にフィードバックしています。			
<u>新型コロナウイルス感染症対策のもと、個人面談を実施し園と保護者が思いを伝え合っています</u> 保護者会は新型コロナウイルス感染症対策の為中止となっており、日頃の子どもの姿を見る機会が減ることで保護者の理解が浅くならないように、園は最大限工夫をしています。子どもが園に慣れた春の終わりごろ個人面談を計画し、希望をとりました。個人面談は申し込み制とし、担任と保護者が保育の見通しや子どもの様子を伝えあっています。感染症対策の徹底のため見送られている保護者参加行事、保護者同士の交流などの再開が待たれています。			
9	評価項目 9		
	地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている		評点 (○ ○)
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している	○非該当
	●あり ○なし	2. 園の行事に地域の方の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	○非該当
評価項目 9 の講評			
<u>子どもたちが地域や社会に興味を持てるようにしています</u> 幹線道路に面した園ですが、周囲は住宅が多く、商店街等は隣接していませんが、園で行う日本の伝統行事と、地域の季節の飾りつけや雰囲気に合わせて体験できるように散歩ルートを考えるなどして子どもたちが地域を知る機会を作っています。散歩の途中で子どもたちは地域の人に挨拶しており、地域との交流が人の温かさを感じさせてくれます。地域に見守られていると感じることもあります。0歳児から2歳児までの園として、3歳児から他園に通うことを考え、近隣保育園との交流で同じ2歳児が活動したり、3～5歳児と触れ合うなどの機会も期待されます。			
<u>感染症予防を徹底しながら、地域との交流や連携を視野にアプローチしたいと考えています</u> 児童館などの公共施設の利用や、他園との交流や高齢者施設との交流なども感染症対策強化で実施できずにいます。新型コロナウイルス感染症予防については今後の動向を早めに察知することで企画に工夫を加えたいと考えています。法人とも相談しながら、園から積極的にアプローチしていきたいと考えています。			

〔事業者が特に力を入れている取り組み：小規模保育事業〕

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	6-4-3	日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している
タイトル①	体力作りに取り組み、戸外遊びや散歩・散策を通して季節の変化を感じています	
内容①	0歳児～2歳児までの小さい子どもの園ですが、体力作りに力を入れて取り組んでいます。天気の良い日は毎日散歩に出かけています。園の近くには大小の公園があり、特に築山や水場、水車が回る大きな公園を子どもたちは大好きです。戸外遊びや散歩・散策で子どもたちは五感に刺激を受け、たくさんのことを発見しています。固定遊具で運動をし、虫探しの探索活動で発見を楽しんだり、チューリップ、桜、アジサイ、紅葉など四季折々の花や木々に季節の変化を感じています。拾い集めた木の実やきれいな葉を持ち帰り制作を完成させて園の玄関に飾っています。	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	2-1-1	事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している
タイトル②	保護者の意向、ニーズを的確に把握し、関係機関との連携で親身な対応をしています	
内容②	電話相談を含む個人面談、日々の送迎や連絡帳のやり取り、保護者による保育園評価（年次アンケート、各クラス）を実施し、園として意向把握に積極的に取り組んでいます。保護者の状態や要望、悩みを把握する「相談窓口」を機能させ、発達支援や育児支援などの相談を受け、区など公的機関と連携して親身な対応を行っています。アンケート結果は、「保育園評価の集計結果」としてまとめ、要望や質問等に対し、Q&Aで丁寧に回答し、保護者全員にフィードバックしています。また、園玄関に「子育て相談箱」も設置しています。	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	6-4-5	保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている
タイトル③	保育時間の長い子どもが家庭的でゆったり過ごせるように環境を整えています	
内容③	7時30分から18時30分までの保育時間の間で保護者の就労に合わせて利用時間を決めています。8時30分から16時30分を短時間利用とし、入園時に区で決めた利用時間を守っての利用となります。現在は、0歳児の園児数名が18時30分まで利用しており、園は個別の指導計画に長時間にわたる保育への配慮を位置付け、職員の勤務体制を整備して対応しています。家庭で過ごすのと同じように過ごせるように配慮しています。少人数でゆったりとした保育が行われており、園は使用する部屋の環境づくりにも力を入れ子どもは安心して過ごしています。	

〔全体の評価講評：小規模保育事業〕

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	子ども一人ひとりの発達に応じた保育環境と遊びの充実に力を入れて取り組み、子どもたちの遊びが豊かに展開されています
	内容	0歳から2歳までの子どもたち19名定員の小規模の園の良さを生かしきめ細かな保育に取り組んでいます。環境設定では子どもが体験を増やせるように工夫し、安心感を感じながら過ごすことで人と関わる力を身につけて欲しいと考え、子どもに向き合い、しっかりと受け止めながら優しく声掛けしています。表現遊びとして季節の制作や描画、歌やリズム、運動遊びなどでは子どもが楽しい気持ちを自由に表現できるようにしています。家庭的な空間に手作りいすや人形を置き、パズルや型はめ、ブロックなど子どもが興味関心を持てるコーナーも作っています。
2	タイトル	外部の関係機関との連携で利用者家族のニーズに対応しています
	内容	支援が必要な保護者、子どもに対して、足立区こども支援センターげんきをはじめ、児童相談所、保健センター、及び医療機関と連携しながら、一番良い方法を導く仕組みを整えています。また、必要に応じて、次の保育園の行先の調整や申請なども手助けもしています。これらの取り組みは、子どもにとっても良い影響を与え、保護者にも安心感を与えていると思われます。さらに、連携保育園（東綾瀬保育園）とは良い関係で行き来があり、こちらの看護師による勉強会を実施し、園の「ほけんだより」に展開し、健康管理に役立つとして好評を得ています。
3	タイトル	保育や支援において、職員間の協力し合う連携のあり方が、子どもや保護者に安心感を与えています
	内容	職員は少人数でのローテーション勤務のため、職員同士が保育、支援において微調整しながら協力し合うなど、職員間でよい連携が図られています。また、接遇マニュアルではさらに一歩前進させたいと考えており、子どもたちの声掛け（丁寧できれいな言葉等）を意識し、副主任を中心に職員全員で連携をとって工夫して取り組んでいます。このような積み重ねが、子どもたちに良い影響を与えていると思われ、今回の「保護者アンケート」でも感謝の声が複数ありました。

No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	出来上がった月・週の指導計画や個別指導計画について、職員全員で検討したり、アドバイスし合う環境が望まれます
	内容	全体的な計画から作成した年間指導計画は、園の特徴や地域の特性を加え園独自のものとなっており、通常は2月中に全体反省をし、3月の終わりには次年度分が出来上がっています。月案、週案、個別案のいずれも子どもの発達等を考慮して立案しています。指導計画は当番職員が立案し園長が確認する仕組みとなっていますが、今後は出来上がった月案、週案を題材に、職員全員で意見を出し合う環境が望まれます。また、保護者には園だよりの「今月の目標」等で保育の狙いを知らせていますが、指導計画を保護者にわかりやすく説明する機会の創設も望まれます。
2	タイトル	園の特徴や良さを再度確認し、利用希望者に園の特徴がしっかりと届くよう広報内容の見直しやHPの強化などが期待されます
	内容	本園は1フロアで全体が見渡せる園舎で、職員の十分な目配りの行き届いた環境となっており、定員19名の小規模な園でありながら晴れた日には公園散歩・散策を日課としています。利用者調査では、「園の活動は子どもの心身の発達に役立っているか」「職員が子どもの気持ちを大切にしてくれているか」の項目に、保護者は100%の満足度を示しています。育児困難家庭の支援や配慮の必要な子の保育等で知識と経験の豊富な園長を中心に専門機関との連携も取れています。将来の利用者に園の特徴がしっかりと届くよう広報内容の見直しやHPの強化などが期待されます。
3	タイトル	保育実践の場で、必要時には園内研修で話し合いを深めるなど、効果的な職員連携が期待されます
	内容	職員は全員が有資格者であり、それぞれが学ぶことへの意欲が高いことが伺えます。このことから、お互いに学び合うことや、保育の質の向上に向けて皆で話し合うなど、園内でのコミュニケーションをさらに深いものにしていくことが期待されます。今年度は新入職員も加わったため、チームワークの向上に向けた申し合わせや、仲間意識を構築中ですが、新人が安心してスムーズに仕事に入れるための良好なコミュニケーションのあり方など、一部弱みとして認識されています。園において、チームワークのさらなる醸成に向けた取り組みが期待されます。